

《目次》 P1…大会長挨拶 P2～4…新入会員紹介 P5～8…参加報告・被災地訪問報告
P9…施設紹介・会報編集・HP 管理部よりお知らせ P10…理事会報告
P11…各局からのお知らせ P12…編集後記

第9回学術大会 大会長挨拶

第9回学術大会 大会長 赤池 洋
(山梨大学医学部附属病院)

この度、一般社団法人山梨県言語聴覚士会第9回学術大会を平成28年11月27日(日)に山梨大学医学部キャンパスで開催させて頂くことになりました。近年、言語聴覚士が活躍する領域は幅広く、また様々な制度の変化に伴い、活動範囲は変化を続けています。しかし、まだ言語聴覚士について十分に知られているとは言えない現実があります。そこで今回の学術大会のテーマを「繋げる・支える・考える」～我々の実力と未来～とし、山梨県内STの現状を知ると共にこれからのST領域について考えてみたい、というコンセプトから企画致しました。



特別講演では山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授の増山敬祐先生より「嚥下障害に対する耳鼻咽喉科医の役割」、一般社団法人日本言語聴覚士協会会長の深浦順一先生より「言語聴覚士と言語聴覚療法の未来」と題してご講演を頂きます。新しく有益な知識が多く得られる絶好の機会ですので、ご期待頂きたいと思います。また一般口演では7名の先生方から日々の臨床や取り組みの成果が発表されます。会場では活発な討議をして頂きたいと思います。さらに、本大会では初めての試みとして会場に各施設の紹介ポスターを掲示し、山梨県内ST同士で情報交換ができる場を設けたいと考えております。昨今、2025年の地域包括ケアシステムに向けて地域で活躍するSTが求められていますが、山梨県では病院などの医療機関では80%以上、地域など介護分野では約5%でSTが活躍しているのが現状です。医療から介護におけるリハビリのスムーズな移行を目指し、地域包括ケアシステムに向けた山梨県内STの情勢を共に分かち合って頂きたいと思います。

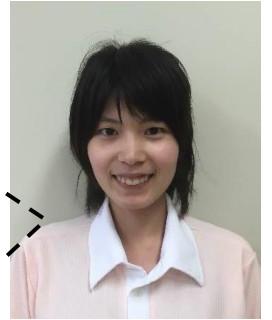
最後に、会員の皆様にとって学術大会が実り多いものとなりますよう、ご参加とご協力を心よりお願いいたします。また、本大会の開催にあたり、準備・運営に携わっております実行委員の皆様へ深く感謝申し上げます。

平成 28 年度 新入会員紹介

今年度は 14 名の先生方が県士会へ入会して下さいました。お一人ずつ、自己紹介として一言いただきました。

あけぼの医療福祉センター 土橋 恭子 (とばし きょうこ)

出身は山梨県市川三郷町です。おしゃべり大好きなセキセイインコを飼っています。インコは仲間とのコミュニケーションを大切にする鳥で、飼い主と会話がしたくて、言葉を覚えるそうです。健気なインコに癒されつつ、コミュニケーションへの意欲を見習わなければと考えさせられます。多くの方と関わりますので、知識・技術だけでなくコミュニケーションスキルを磨き、日々精進致します。今後ともご指導よろしくお願い致します。



石和温泉病院 磯野 未季 (いその みき)

山梨県、山梨市出身。出身大学は池袋にある帝京平成大学です。小学校の時から夢であった言語聴覚士になることができ、大学 4 年間、努力し続けて良かったと改めて思います。4 月から就職し、今は、上司の先生方や仕事環境に恵まれながら、毎日充実した日々を送っています。これからも謙虚さと向上心を忘れず、常に患者様に教を頂きながら、日々努力していきたいと思えます。今後とも宜しくお願い致します。



石和温泉病院 宮澤 美鈴 (みやざわ みすず)

今年から山梨県で言語聴覚士として働くことになりました。出身は埼玉県の川口市です。入職して半年が経ち、日々病院の先輩方や患者様から学ぶことも多く、勉強と反省の毎日です。社会人一年目で先輩の先生方には迷惑をかけてしまうこともあります。患者様に寄り添える言語聴覚士になれるよう努力していきたいと思えます。宜しくお願い致します。



石和共立病院 片桐 紗菜恵 (かたぎり さなえ)

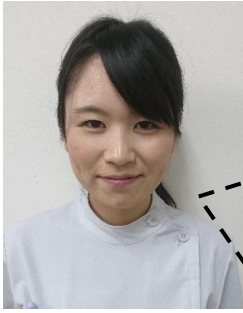
今年度、石和共立病院の小児リハに入職しました片桐紗菜恵です。出身地は新潟県南魚沼市。私は子どもが好きで小児リハをやりたいと思い山梨にやってきました。初めての土地・仕事にまだ慣れない事も多く、ご迷惑をおかけすることもあると思えますが、お子さんと先輩方から沢山の事を学び、言語聴覚士として大きく成長できるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



石和共立病院 太田 真未 (おおた まみ)

3 年間、栃木県の病院で耳鼻咽喉科専属の言語聴覚士として働いていました。昨年出産したことをきっかけに、今年の 4 月から山梨県で働くことになりました。脳血管領域から 3 年離れていたこともあり、わからないことも多いですが県士会を通して指導アドバイスをいただければと思えます。よろしくお願い致します。





春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 伊藤 茜 (いとう あかね)

出身地は、長野県上伊那郡の辰野町という虫の有名な町で、標高が 1000mにもなる自然豊かな山間部で育ちました。出身大学は栃木県の国際医療福祉大学で、今年 4 月から、実習よりお世話になっている春日居サイバーナイフ・リハビリ病院に就職させて頂きました。まだまだ未熟でご迷惑をお掛けすることも多くあると思いますが、1 日でも早く先生方のように活躍出来るよう、精一杯努力をしていきたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。

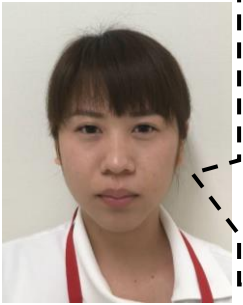
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 比嘉 このの (ひが このの)

出身地は綺麗な海に囲まれた沖縄県です。実習より、熱心で尊敬出来る先生方や盛んな県士会活動を間近で見、私も山梨で先生方のような言語聴覚士になりたいと思ひ、春日居サイバーナイフ・リハビリ病院に入職させて頂きました。沖縄とは全く異なる話し方や周りの景色に、恋しくなることも多々ありますが、恵まれた環境で働かせて頂けることに感謝し頑張っていきます。どうぞ宜しくお願ひ致します。



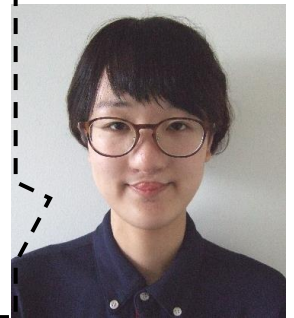
山梨県立中央病院 市川 麻衣 (いちかわ まい)

出身は山梨県山梨市です。東京で大学生活を過ごし、山梨県に戻ってきました。生まれ育った山梨県で言語聴覚士として働かせていただけることを大変嬉しく思ひます。まだまだわからないことや戸惑うことも沢山ありますが、県民の皆様の依頼に答えられるよう業務に努めていきたいと思ひます。これからもご指導のほどよろしくお願ひいたします。



甲州リハビリテーション病院 間宮 愛貴 (まみや あき)

甲州リハビリテーション病院の間宮愛貴と申します。出身は長野の岡谷市でうなぎが有名な町です。出身校は北里大学です。自然に触れるのが好きで、毎日緑豊かな景色に癒されています。入職して半年が経ちますが、まだ慣れないことも多く、患者様や先輩方から日々多くの事を学んでいます。今後も学ぶ姿勢と努力を忘れず、一人でも多くの患者様の笑顔を引き出せるよう日々精進して参ります。どうぞ宜しくお願ひ致します。

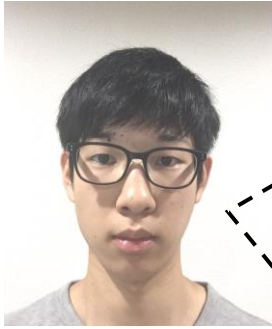


甲州リハビリテーション病院 鈴木 悠香 (すずき ゆか)

甲州リハビリテーション病院の鈴木悠香と申します。出身地は福島県、出身校は国際医療福祉大学です。新しい場所での慣れない生活に不安もありますが、職場での経験や県士会の活動を通して多くの事を学んでいきたいと思ひております。

今後、会員の先生方のように患者様 1 人 1 人としっかり向き合えるような言語聴覚士になれるよう日々努力していきますので、ご指導の程よろしくお願ひ致します。





甲府共立病院 山川 大樹（やまかわ だいき）

新潟県加茂市出身です。趣味はアクティビティーで、これまでにバンジージャンプやラフティングを経験しました。現在は夢のスカイダイビングに向けて山梨での友達作りに励んでいます。初めは慣れない環境に戸惑い悩むこともありましたが、周りの方々のお力をお借りしながら徐々に仕事の幅が広がっていることを実感しています。皆様のように活躍できる言語聴覚士を目指し、日々の業務に取り組みたいです。よろしくお願い致します。

甲府城南病院 橋本 晃典（はしもと あきのり）

出身は甲府市です。地元で成人リハビリに携わりたいと思い、大学のある浜松から山梨県に戻ってきました。趣味は車や時計を見て、自分の手が届かない世界を楽しむことです。社会人になりまだ半年しか経っておらず、勉強しなければならないことだらけの毎日です。悩むことや後悔することもあります。日々成長していくことが出来たらと思っています。よろしくお願い致します。

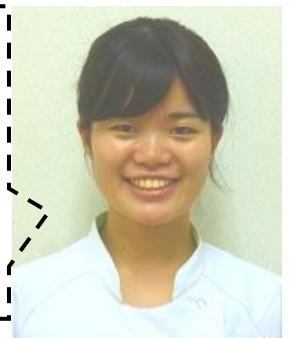


甲府城南病院 松本 英之（まつもと ひでゆき）

出身は最古の学校である足利学校が存在することで（地元では）有名な栃木県足利市です。入職して五カ月が経ちますが甲府市の暑さに耐え、日々先輩たちにアドバイスを頂きながら毎日臨床に励んでいます。悩む事も多いですが、同期三人で三本の矢となり折れることなく日々成長していけるように、山梨県の言語聴覚士として多くの事を学び、多くの事を吸収していきたいと考えています。これからよろしくお願い致します。

甲府城南病院 上田 菜緒（うえだ なお）

出身地は寒ブリや白エビが美味しくて有名な富山県入善町です。出身大学は新潟医療福祉大学です。入職してから半年経ち、やりがいを感じるが増えてきましたが、素晴らしい先輩に囲まれ、自分の不甲斐なさに反省することもたくさんあります。はやく知識や技術を吸収して、皆様のような言語聴覚士になれるように少しずつ成長したいと思っています。よろしくお願い致します。



学会・研修会報告

第 17 回 日本言語聴覚学会 発表報告

甲州リハビリテーション病院 赤池 絢

平成 28 年 6 月 10 日・11 日の 2 日間にわたり京都市にて開催された「第 17 回日本言語聴覚学会」にて、口述発表を行いました。

今回、私は初めて演者として参加し、「多彩な言い誤りを呈した Wernicke 失語の一例－呼称における発話内容の分析－」というタイトルで、Wernicke 失語の患者様の呼称場面における発話特徴と言い誤りの経過を分析し、報告しました。

今回の発表を通して、様々な方にご助言を頂きながら、症例の症状について理解を深めることができ、日々の臨床の中で患者様の変化を細かく評価することの重要性を改めて学びました。スライドや発表原稿の作成では、限られた時間の中で伝えたいことをわかりやすく伝えることに苦勞し、何度も修正を重ねました。発表当日は大変緊張し、質疑応答では的確に伝えることの難しさを実感しました。たくさんの課題が見えましたが、やり終えた後の充実感も大きく、大変貴重な経験となりました。

今回の発表を通して学んだことをこれからの臨床や研究に還元できるよう、努力していきたいと思えます。

第 17 回 日本言語聴覚学会 参加報告

石和共立病院 秦 亮太

私は、6 月 10 日・11 日に日本言語聴覚学会に参加させていただきました。日本言語聴覚学会に参加した理由は、失語症や高次脳機能障害、構音障害、嚥下障害と様々な専門分野の講演があったからです。

私は、今回が初めての学会参加となりました。講演の中には、iPad を利用した講演があり、時代の変化に伴い、リハビリテーションの内容も発展していくのであると感じました。私は、言語聴覚士 2 年目になりましたが、日々の臨床業務の中で、知識の乏しさを感じています。そのため、日本言語聴覚学会のような幅広い専門分野を学べる場所に参加することにより、リハビリテーションの質を、より高めることが出来るのではないかと思います。また、学会で学んだ知識を、病院の同職種間へ伝達しました。知識を共有し、病院の医療活動の発展につながると考えています。



平成 28 年度地域づくりによる介護予防推進支援事業研修会参加報告

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 佐々木 蘭子

去る 8 月 4 日に山梨県立博物館にて平成 28 年度地域づくりによる介護予防推進支援事業研修会が開催されました。リハ職の参加は 20 名程度で中でも言語聴覚士の参加は 5 名程でした。「介護予防」といったことばはよく耳にするようになりましたが、私自身、実際に自分が住んでいる地域、働いている地域の介護予防事業について全くとっていいほど知らない状態でした。今回、参加しようと思ったきっかけのひとつでもありました。

研修会は広域アドバイザーの畑山浩志先生による講義、密着アドバイザーの久保田好正先生による活動報告、モデル市町村の活動報告、グループワークからなっていました。畑山先生からは洲本市やこれまで関わった地域の活動をご紹介していただきました。久保田先生からは山梨の現状、これからの事業についてお話ししていただきました。以前、県土会で作製した体操「ニコニコ長生きやまなし体操」を使用して介護予防事業に取り組んでいる地域もありました。

私たちリハ職の関わりが少ない現状であり、これから関わっていくためには、私たちに何ができるのか考えさせられました。県内でのモデル市町村は少ないものの、今後は私たちリハ職が関わる機会も増加してくると思われまます。

私たちが関わらせていただいている患者さまの多くは地域に帰ります。地域のことがわからなければ地域につなげることが難しくなります。言語聴覚士として自分にできること、求められることを常に考え、今後も学んでいきたいと思いました。

第 2 回 学術部講演会参加報告

甲府共立診療所 本間 隆之

今回、子どもの高次脳機能障害というテーマで開催された、第 2 回学術部講演会に参加させて頂きました。

私の臨床場面では、高次脳機能障害と診断される患児との関わりは少ないですが、記憶の弱さ、遂行機能の弱さなどを呈する患児は多くみられます。それぞれタイプが違い関わり方や支援方法も変わるので、毎回悩み苦戦をしています。今回の公演では、それぞれの弱さにどのように支援をしていけば良いのか、今までとは違う視点で考える糸口を掴む事が出来たと感じています。

また、周囲の人々がどのように関わればよいのかという事にも触れられており、リハビリだけでなく、子どもの生活場面に関わる学校との連携、親御さんへのアドバイスの重要性、それらをどのように伝えていけば良いか等、とても役立つ事を教えていただきました。

日常的に患児自身に取り組んでもらう事など、こちらが提案していくだけでなく、将来的な自立に向けて自己理解を促しつつ、一緒に対策を考えていく事の必要性を学ぶ事が出来ました。これからの臨床場面で実践していきたいと思えます。



JRAT の活動について

JRAT 東京本部への出向報告

山梨大学医学部附属病院 赤池 洋

平成 28 年 4 月 14 日、16 日におきました熊本・大分地震において ST 協会では 4 月 15 日に日本理学療法士協会・日本作業療法士協会と協議され、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）の傘下で全面的に協力し、同日に ST 協会の協会災害対策部員を JRAT 東京本部へ派遣されました。当士会でも ST 協会より JRAT 東京本部への支援依頼があり 4 月 30 日、5 月 1 日の 2 日間支援に出向しました。JRAT 東京本部には JRAT 構成団体の担当者が交代で支援に来ており、医師や PT、OT、ST、MSW など 5～6 名の体制で活動が行われました。活動内容は全国の地域 JRAT への連絡、派遣依頼、日程調整から公文書作成、日々の活動記録の作成・保存、派遣チームの JMAT（日本医師会災害医療チーム）登録、被害状況・道路状況・避難所状況の情報収集などを行いました。JRAT 東京本部の活動は日々変わる担当者の中で多岐にわたる仕事内容を行うだけでなく、次の担当者への引き継ぎの重要性、さらに JRAT 熊本本部に向けた後方支援の難しさを実感しました。今後は山梨県だけに留まらず他県への災害支援の際には今回の経験を活かせるように努めていきたいと思ひます。

山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策準備委員会研修会報告

山梨大学医学部附属病院 赤池 洋

平成 28 年 9 月 6 日、山梨県立文学館講堂にて災害対策準備委員会研修会が開催されました。大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）代表の栗原正紀先生より「災害リハビリテーション支援活動」と題してご講演を頂き、JRAT 設立



経緯から組織、活動について、また関東・東北豪雨災害、熊本地震における JRAT の活動などをご教授頂きました。栗原先生のご講演は何回聞いても熱意溢れる内容で災害リハ支援への考え方を見直す良い機会となりました。今回、200 名を超える参加者（当士会 49 名）が見られ、災害リハについての関心が伺えました。これからも災害に対する意識を常に持ち続け、平時より山梨県での災害活動に取り組めるように真摯に取り組んでいきたいと思ひます。

いきいき山梨ねんりんピック参加報告

広報局広報部 高橋 正和

「いきいき山梨ねんりんピック 2016」が小瀬スポーツ公園で平成 28 年 9 月 24 日（土）に開催され、当士会では PR ブースの出展を行いました。当日は、午後から天気が崩れてしまいましたが、午前中は多くの皆様がブースに立ち寄り下さいました。PR 活動の一環として例年実施している検査体験では、「WAIS-R 符号合わせ」、

「動物による意味カテゴリー流暢性課題」、「語頭音“か”による文字流暢性課題」を行ないました。検査結果に意気揚々と帰られる方もいれば、結果に戸惑う方もいらっしゃいました。私たちスタッフは、参加者の日々の生活や趣味、活動などにつながるように具体的なアドバイスを心掛け、“話が聞けて安心できた”、“これからの生活で気を付けてみる”などの意欲的な声を頂くことができました。多くの地域の皆様とふれあい、言語聴覚士として生活支援や地域活動に携わる重要性を肌で感じました。広報部では今後も言語聴覚士がより身近な職業となるように、地域での PR 活動を継続いたします。



熊本県被災地訪問報告

会長 内山 量史

平成 28 年 7 月 23 日～24 日に 1 泊 2 日で熊本県を訪問して来ました。山梨県言語聴覚士会からの義援金を熊本県言語聴覚士会の山本恵仙会長に届けるための訪問です。当会としては地震の発生直後の定時社員総会や新入会員歓迎会などで募金活動が始まりチャリティー講習会などを開催して義援金を募りました。ご協力いただいた会員の想いをしっかりと熊本県言語聴覚士会に届けてきました。

熊本滞在中は山本会長には益城町をはじめ避難所や役場、熊本城、熊本 JRAT 本部など視察させていただきました。災害の後にはいつも感じるように報道で流れる時間は減っていますが、まだまだ支援が必要な方々が多くいたり瓦礫が散乱したりという現状でした。これからが復興に向けた時間だと感じました。



2 年前に老健事業で山梨を訪問していただき東京の会議で一緒させて頂く熊本リハビリテーション病院の副院長

山鹿真紀夫先生、リハビリテーション部技師部長 槌田義美先生には病院の見学から地域連絡会の参加、熊本 JRAT のメンバーとの意見交換会などを設定していただき多くの方々から話しを聞くことができました。熊本城の視察では地元のテレビ局のインタビューを受けるなど充実した 2 日間となりました。この貴重な体験を少しでも山梨県の災害対策に活かせるように努力します。

熊本県には 12 月 17 日～18 日に当会の復興支援ツアーとして理事および災害対策準備委員会 8 名で再度、訪問いたします。山梨県から熊本県の復興を応援しましょう。



施設紹介

〈山梨市立牧丘病院〉

和泉 裕二

当院は、昭和 54 年に牧丘町立牧丘病院として開設され、平成 17 年の市町村合併してからは山梨市立牧丘病院となり、平成 18 年より厚生会指定管理病院として東山梨地域の方々を守る医療・リハビリを展開しています。

リハビリスタッフは、理学療法士 4 名・言語聴覚士 1 名の計 5 名体制。理学療法士は入院・外来リハに 2 名、訪問リハに 2 名。言語聴覚士は今までも週に 1 回・半日の関連病院からの非常勤勤務という形で籍は存在しましたが、半日勤務ということから病棟患者の摂食嚥下・構音障害者の初期評価を実施し、病棟へ申し送るだけで半日が終わることもありました。継続的な評価・観察からの訓練や退院指導等までは行えず、繰り返し入院される等の課題もあったと聞いています。

今年度より常勤 1 名確保により適時、病棟患者の評価・訓練の予定を組むことができるようになりました。また、非常勤勤務では困難であった退院時指導・情報提供書の作成もできるようになり、周辺施設から感謝のお言葉も頂けるようになってきております。また、病棟業務以外に訪問、外来リハビリも開始され、徐々に言語聴覚士の業務も拡大されつつあります。

当院の特徴として、医科-歯科連携が密接に行われ、週に 1~2 度の歯科衛生士によるケアと適宜、歯科医師による治療が行われています。歯科介入により、特に摂食嚥下面に関しては言語聴覚士、病棟職員も含め退院に向けた支援がより行いやすくなっています。

言語聴覚士の常勤勤務により、入院・訪問・外来と多くの側面で試行錯誤の状態ではありますが、「一人だからできない」という事にしないよう常に質の高いものを心がけていきたいと考えております。

最後に、こちらの方面で言語聴覚療法を継続実施していきたいという方がおられたら、どうぞお声かけ頂ければと思います。



会報編集・HP 管理部より

広報局 会報編集・HP 管理部 部長 佐々木 蘭子

今年度より、会報編集部と HP 管理部が一つの部として活動しております。会員の方にはタイムリーな情報をお届けできるよう、また多くの方に“言語聴覚士”を知ってもらえるような情報をお届けできるよう、部員一同、努力してまいりたいと思っております。現在、県士会 HP では各部局からの情報の閲覧に不具合が生じており、ご迷惑をおかけしております。また、Facebook や Twitter などの SNS の普及によって閲覧数が減少傾向にある印象を受けます。HP、県士会ニュースともに多くの方に“見たい”と思われる内容を企画してまいります。ご意見、ご感想等お聞かせ下さい。

理事会報告

【平成28年度 第1回理事会議事録】

日 時：平成28年4月28日18時40分～21時15分
場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
議 長：内山量史

出席理事：内山量史・赤池三紀子・中村晴江・和泉裕二・市川奈弥・梶原さわか・桂川謙祐・小池京子・佐々木蘭子・高橋正和・元木雄一郎・吉澤由香・河西祐子

欠席理事：赤池洋、池神多加子

<協議事項>

1. 内山量史代表理事（会長）、赤池三紀子副会長、中村晴江副会長が選任された。
2. 平成28・29年度一般社団法人山梨県言語聴覚士会組織図について承認された。各部署の役員・委員、各委員会の委員が承認された。
3. 災害時における会員安否確認の連絡網の構築、県土会災害対策本部設置に関する規約を作成することが決定した。
4. 熊本地震復興支援チャリティー講演会を開催し、義援金とすることが承認された。

<報告事項>

1. 各部の活動が資料に基づき報告された。
2. 3協会合同都道府県土会長会議、一般社団法人北海道言語聴覚士会設立記念式典の出席が報告された。
3. 県特別支援教育体制強化事業、3協会合同特別支援教育委員会第1回委員会の報告がなされた。
4. 内山会長より、都道府県土会会員とST協会会員のメンバーは一致することが理想であり、相互に入会の働きかけを行っていくことが報告された。

【平成28年度 第2回理事会議事録】

日 時：平成28年5月20日18時40分～21時30分
場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池三・中村・赤池洋・池神・市川・梶原・桂川・小池・佐々木・高橋・元木・吉澤・河西

欠席理事：和泉

<協議事項>

1. HPの学術部ブログに講演会の写真や報告文を載せることが承認された。
2. 症例検討会の目的、実施方法について協議され、発表症例数や進め方については、順次修正していくこととなった。
3. 次年度にHPのサーバー移行を行うことが承認された。
4. 県土会ロゴマークが決定し、HPへの使用が承認された。
5. 広報グッズのボールペンを作製することが承認された。

<報告事項>

1. 各部の活動が資料に基づき報告された。
2. 山梨県リハビリテーション病院・施設協議会定期総会在宅医療チーム形成促進のための意見交換会への出席が報告された。
3. JRAT 災害対策本部支援活動への参加、山梨県防災危機管理課への訪庁が報告された。
4. 初期研修（DVD研修）を今年度中に3回実施すること、修了証の発行、初期研修修了者へのテキスト頒布について報告された。

【平成28年度 第3回理事会議事録】

日 時：平成28年6月24日18時45分～21時40分
場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池三・赤池洋・池神・和泉・市川・梶原・桂川・小池・佐々木・高橋・元木・吉澤・河西

欠席理事：中村

<協議事項>

1. 第3回学術講演会が12月9日（金）、第4回学術講演会が平成29年1月20日（金）に決定した。
2. 第2回初期研修の日程が承認された。

<報告事項>

1. 各部の活動が資料に基づき報告された。
2. 熊本地震復興支援義援金について報告された。
3. 3協会合同意見交換会、一般社団法人日本言語聴覚士協議会都道府県土会会長会議、一般社団法人山梨県理学療法士会・一般社団法人山梨県作業療法士会新入転入者歓迎会の出席が報告された。
4. 第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会が平成29年12月2日、3日にセレス甲府で開催されることが報告された。

【平成28年度 第4回理事会議事録】

日 時：平成28年7月29日18時40分～21時55分
場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
議 長：内山量史

出席理事：内山・赤池三・中村・赤池洋・池神・市川・桂川・小池・佐々木・高橋・元木・吉澤・河西

欠席理事：梶原・和泉

<協議事項>

1. いきいき山梨ねりんピックの出展内容が決定した。
2. 社章バッジと理事の名刺を作成することが決定した。
3. 第3回初期研修の日程、導入研修を平成29年1月に開催することが承認された。
4. 第9回学術大会抄録集の印刷数が決定した。また、例年通り演者には記録集（印刷物）を配布することとなった。

<報告事項>

1. 熊本地震復興支援義援金を熊本県ST土会と大分県ST土会へ寄付したこと、内山会長の熊本訪問が報告された。
2. 山梨県介護支援専門員協会との3協会合同会議、平成28年度第1回山梨県地域包括ケア推進会議への出席が報告された。
3. クローバーの会へ平成28年度賛助会員会費を送付したことが報告された。
4. 第2回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会のテーマが「躍進・リハビリテーション未来の創生」に決定したことが報告された。

書記：安富朋子・山田 徹・坪井沙妃・山田典子
議事録作成：河西祐子

各局からのお知らせ

事務局

「平成28年熊本地震復興支援義援金」について【ご報告とお礼】

・4月27日の新入会員歓迎会、5月24日のチャリティー講演会で義援金の募集を行いましたところ、多くの皆様からご支援を頂戴しました。お寄せいただいた義援金総額103,066円は、一般社団法人 熊本県言語聴覚士会ならびに公益社団法人 大分県言語聴覚士協会に全額寄付させていただきましたことをご報告いたします。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

・会員動向についてお知らせします。(平成28年9月末現在) 正会員数 137名、賛助会員 4団体

入会：株式会社 ヘルシーネットワーク(賛助会員)

退会：三井 真琴先生(健康科学大学リハビリクリニック)

・会員名簿記載事項に変更のあった方は「会員異動届」の提出にご協力ください。届出用紙は県土会ホームページからダウンロードできます。

広報局

<広報部>

・「いきいき山梨ねんりんピック2016」にPRブースを出展いたしました。多くの方に参加して頂き、盛況に終えることができました。ご協力を頂きました会員皆様には感謝申し上げます。

・広報部ではリーフレットやのぼり等、広報グッズの貸出を行っております。ご希望の方は部長高橋までお問い合わせ下さい。

<会報編集部・HP管理部>

・会報誌WEB版も随時掲載しておりますので、是非ご覧ください。県内の第9回山梨県言語聴覚士会学術大会・講演会などに加え、言語聴覚士協会関連のイベント情報も当ホームページで掲載しております。是非御活用下さい。次号は2月発行を予定しております。

社会局

<職能部>

・日本言語聴覚士協会および山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会などの関連団体や行政、地域との連携・協力に向けて県土会代表として会長、副会長の他に理事も以下の会議に出席しています。

①3 士会合同意見交換会②中北地域リハ連絡会③山梨県地域包括ケア推進会議④山梨県介護支援専門員協会との3 士会合同会議⑤山梨県民間病院協会PT・OT・ST 部会⑥地域リハビリテーション従事者研修会実行委員会、などこれ以外にも多くの事業に参画しています。

<地域部>

・平成28年6月30日、春日居サイバーナイフ・リハビリ病院会議室にて第1回部会を開催しました。各部員より各圏域の現状報告があり今後も密な情報交換の場を設け、地域リハビリテーションの活性化に向けて努めていきたいと思っております。

・「第21回山梨県失語症者のつどい」が11月20日(日)、大木記念ホールで開催されます。当日のボランティアを募っていますので、多くの方のご協力をお願い申し上げます。

学術局

平成28年度前期の講演会、研修会にご参加いただきありがとうございました。特に研修部の症例検討会は2症例の発表となり、会員の皆様のご協力に感謝いたします。今後、開催予定の講演会、研修会は下記の通りです。皆様のご参加をお待ちしています。

<学術部>

第3回学術講演会

日時：平成28年12月9日(金)18:30~

講師：中川 良尚先生

(江戸川病院リハビリテーション科言語室 係長)

テーマ：「失語症の長期経過」

会場：男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合) 大研修室

第4回学術講演会

日時：平成29年1月20日(金)18:30~

講師：三鬼 達人先生

(藤田保健衛生大学病院 看護部/摂食・嚥下障害看護認定看護師)

<研修部>

第4回症例検討会

日時：平成28年10月20日(木)18:30~

場所：甲府市東公民館

発表者：小澤 しず香先生(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

バイザー：浅利 さとみ先生(湯村温泉病院)

発表者：小野 光先生(甲府城南病院)

バイザー：元木 雄一郎先生(甲州リハビリテーション病院)

第4回小児領域勉強会

日時：平成28年12月3日(土)14:30~

場所：甲府共立診療所

<教育部>

第5回教育部新卒者研修会

日時：平成28年11月8日(火)18:45~

会場：国立甲府病院 会議室

内容：①標準失語症検査の実践とポイント

講師：教育部部員

②対人コミュニケーションの基礎Ⅳ

講師：中村 晴江 副会長

第6回教育部新卒者研修会

日時：平成28年12月6日(火)18:30~

場所：甲府市東公民館

内容：①症例報告

②1分間スピーチ

唾液のチカラで健康と笑顔を
お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

Pepti-Sal



Pepti-sal (ペプチサル)とは、
「Peptide (ペプチド)」+
「Saliva (唾液)」の造語。

唾液のチカラに着目して開発された
低刺激性のオーラルケア製品です。
デリケートなお口をやさしくケアし、
お口の環境を健康に保ちます。
要介護の方のケアにもおすすめです。

2014年12月発売



※1(アレルギー)※2(アレルギー)※3(アレルギー)

T&K ティーアンドケー株式会社 0120-555-350 www.comfort-tk.co.jp



おいしく、たのしく、嚥下リハビリのお手伝い
授食嚥下リハビリ食のラインナップ紹介
様々な製品を取りそろえています。

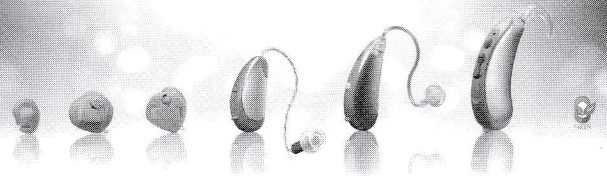
<p>毎日嚥下練習が楽しめる 10種類の味</p> <p>エンジョイゼリー</p> <p>プレーン いちご コーヒー チョコレート あずき味 パイン味 さす 抹茶 スイートポテト味 りんご味</p>	<p>個別の栄養成分に合わせた 食べやすいサイズ</p> <p>エンジョイカップゼリー</p> <p>いちご味 キヤラメル味 あずき味 コーヒー味 りんご味 マンゴー味</p>	<p>無添加で食べられる40g</p> <p>エンジョイ ハイカロリーゼリー</p> <p>りんご味 もも味</p>	<p>口への負担の向上とほろもろを実現</p> <p>つるりに Quickly</p>
--	---	---	--

他にもおいしく栄養が摂れる、豊富なラインナップがそろっています。資料・サンプル等のご請求はお気軽に。
0120-52-0050 クリニコ 検査 http://www.clinico.co.jp 高松乳業グループ病態栄養部門 株式会社クリニコ



RIONETMAJES
リオネットマジェス

新たなる聞こえの感動へ
リオネット補聴器の技術を結集した
リオネットマジェス誕生



30th
おかげさまで



認定補聴器専門店
山梨リオン補聴器センター

〒400-0032 甲府市中央5丁目2-29
受付時間/月曜日～土曜日 朝9時～夕方5時まで
定休日/日曜日・祝祭日 駐車場あり

お気軽にご相談ください 0120-293321

病院で使われている介護食を、ご家庭にお届けしています。

HEALTH CARE FOOD
在宅 通信販売



- ☑ 噛むこと、飲み込むことが苦手な方に
- ☑ 飲食時によくむせる方に
- ☑ 食の細い方に

やわらかさの程度や形態別に分類されたおかずやデザート、
とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載されています。また、
栄養指導で役立つコラムも多数ご紹介しています！

病態別に「たんぱく制限用」「カロリー制限用」カタログもご用意しております

「嚥下調整食分類2013」
と対応する他介護食品
の分類を一覧でご紹介



日本摂食嚥下リハビリテーション学会
嚥下調整食分類2013と他介護食品の対応

食品分類2013	他分類
01 固形調整食	UP
02 流動調整食	UP
03 嚥下調整食	UP
04 嚥下調整食	UP
05 嚥下調整食	UP
06 嚥下調整食	UP
07 嚥下調整食	UP
08 嚥下調整食	UP
09 嚥下調整食	UP
10 嚥下調整食	UP
11 嚥下調整食	UP
12 嚥下調整食	UP
13 嚥下調整食	UP
14 嚥下調整食	UP
15 嚥下調整食	UP
16 嚥下調整食	UP
17 嚥下調整食	UP
18 嚥下調整食	UP
19 嚥下調整食	UP
20 嚥下調整食	UP
21 嚥下調整食	UP
22 嚥下調整食	UP
23 嚥下調整食	UP
24 嚥下調整食	UP
25 嚥下調整食	UP
26 嚥下調整食	UP
27 嚥下調整食	UP
28 嚥下調整食	UP
29 嚥下調整食	UP
30 嚥下調整食	UP
31 嚥下調整食	UP
32 嚥下調整食	UP
33 嚥下調整食	UP
34 嚥下調整食	UP
35 嚥下調整食	UP
36 嚥下調整食	UP
37 嚥下調整食	UP
38 嚥下調整食	UP
39 嚥下調整食	UP
40 嚥下調整食	UP
41 嚥下調整食	UP
42 嚥下調整食	UP
43 嚥下調整食	UP
44 嚥下調整食	UP
45 嚥下調整食	UP
46 嚥下調整食	UP
47 嚥下調整食	UP
48 嚥下調整食	UP
49 嚥下調整食	UP
50 嚥下調整食	UP



株式会社ヘルシーネットワーク

〒191-0024 東京都日野市万願寺1-34-3
受付時間 9:00～17:00 ※日・祝除く



カタログのご請求・お問い合わせは

0120-236-977
0120-478-433

ヘルシーネットワーク

検索

http://www.healthynetwork.co.jp

スマホでのアクセスはこちら



編集後記

今年度から新たに会報編集・HP管理部のメンバーに加わり
ました、恵信甲府病院の藤原です。今年の夏はリオオリンピックが
開催され、多くの若い日本人選手の活躍により盛り上がりを見せ
てくれました。テレビ中継では時差もあり、深夜眠たい目をこすり
ながらもテレビの前で応援しました。

今回は約半世紀ぶりの東京での開催という事で、今大会以上
に若い選手が盛り上がりを見せてくれることを期待しています。私も
STの若手として、東京オリンピックを目指すアスリートに負けな
いぐらい、4年後の「自分」を想像しながら、様々な事に挑戦してい
きたいと思います。

まだまだ2年目の新人STではありますが、会報編集・HP管理
部において会員の皆様が、「また読みたい!」と思える様な企画が
提案できるよう、取り組んでいきたいと思っています。

(藤原裕己)

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会

<発行人> 内山量史

<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集・HP管理部

石和	温泉	病院	高橋	正和	坂井	隆一
石和	共立	病院	渡邊	千裕		
一宮	温泉	病院	倉島	雪乃		
春日居	サイバー	ナイフ・リハビリ	佐々木	蘭子	小澤	しず香
恵信	甲府	病院	藤原	裕己		
白根	徳洲会	病院	村上	薫		
国立	病院	機構	甲府	病院	小松	富美子・小林
山梨	厚生	病院	山本	雄太		
湯村	温泉	病院	岡	大樹		

<事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366

<発行日> 2016年11月1日 第36刊